



書
評

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 レジデントマニュアル

監修：伊藤壽一，大森孝一
編：楯谷一郎

B6変型・頁432 2016年 定価：本体4,800円＋税
[ISBN978-4-260-02526-3] 医学書院刊

＜書評者＞ 村上信五（名市大教授・耳鼻咽喉・頭頸部外科学）

耳鼻咽喉科
頭頸部外科
レジデントマニュアル

監修 伊藤壽一 大森孝一
編集 楯谷一郎

耳鼻咽喉科専門医を
めざす医師にとって
必須の事項をコンパクトに収録
臨床ですぐに役立つ知識・手術も網羅
図解が
わかりやすい
電子版あり

本書は京大耳鼻咽喉科・頭頸部外科で、15年前から
教室員や医学生、看護師などのメディカルスタッフを
対象に行ってきたモーニングレクチャーやイブニング
レクチャーの資料を基に作成されたものである。

“何事もまずは形から入る”とはよく言ったものであ
る。本書はコンパクト！ 縦18cm×横11cmで、
iPhone Plusよりは大きいがiPad Miniよりは小さい。
白衣のポケットにも収まり、片手でページをめくろ
うことができる。厚さはiPadの2倍あるが、重さは14g
軽く、ジャスト300gである。光沢のある上質紙を使
用しており、400ページ超ものコンテンツが収まって
いる。一目見ただけで、手に取って中身をのぞきたく
なる。

本書作成の趣旨が「臨床現場で役立つ」であること
からして、いわゆる教科書とは一線を画した機能的かつ
実践的なマニュアルになっている。まず、表紙裏の
見返し部分に各章の大項目が記載され、めくろの部分
に連結しているため、必要な目次を探しやすい。構成
としては、第1章「所見のとり方」では、耳、鼻、口
腔、咽頭・喉頭、頸部の基本的な診察方法とチェック
ポイントがシェーマと写真を用いて簡潔に記載されて
いる。また第2章「主訴からみた診療の流れ」では、
耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患の主たる臨床症状を取り
上げ、問診、視診、触診、検査（血液、生理、機能、
画像）など「まずやるべきこと」をリストアップして
いる。そして、「診療の流れ」として診察・検査の手順
をフローチャートで示し、最後に「想定される主な疾
患」として鑑別すべき疾患を挙げている。まさに、患
者が受診して診察を受け、診断がなされていく日常診
療の過程が機能的かつ実践的に実施できるシステムに

なっている。

そして第3～7章では、耳、鼻副鼻腔、口腔・咽頭、
喉頭、頭頸部領域の疾患において、行うべき諸検査の
具体的な実施手技と所見の読み方について解説し、診
断のポイントと治療方針が詳細に記載されている。加
えて各領域における代表的手術の術式や周術期の管理
も簡潔にまとめられているが、特に頭頸部癌では腫瘍
摘出後の再建や放射線治療、化学療法の実際と全身管
理、緩和医療に至るまで詳細な解説がなされている。
患者を問診し、所見を取り、検査を通して診断し、治
療を行うという一連の診療が、無駄なくシステマ
ティックに行えるのが本書の特徴と言える。

さらに第8章「耳鼻咽喉科と感染症」では、耳鼻咽
喉科領域の感染症に対する主たる原因菌と抗菌薬の選
択、周術期・術後の感染予防・対策を取り上げ、妊婦
に対する薬剤処方の注意点についてもコラムで解説し
ている。

そして末尾の付録では、①頭頸部がん、甲状腺がん
のTNM分類、②耳鼻咽喉科専門研修プログラム、③
各疾患のガイドライン・治療指針の検索リストが掲載
されている。また、本書全体を通して要所でMemoや
参考図書が記載されているので、さらに深く詳細を調
べたいときに役立つ。

以上のように、本書には耳鼻咽喉科の全領域におい
て、耳鼻咽喉科専門医に必要な知識と診療の必須事項
がコンパクトに収載されている。まさに「臨床現場で
役立つ」書であり、医学生や研修医はもちろん、耳鼻
咽喉科専門医をめざす専攻医にとって必携の書といえ
る。